回覧

令和６年１０月３０日

町内会　各位

土手内自主防災会
会　長　佐藤　力

１０月２７日の令和６年度：大雨洪水警報避難訓練に参加された皆さま、大変ご苦労様でした。そして、お疲れ様でした。最終集計によりますと『白いタオル』掲示数が２５２本（７３％）、昨年度（７９％）を下回りました。

『白いタオル』で安否確認！　そこから、救助活動が始まります。

○旗（白いタオル）で安否確認　仙台市宮城野区福住町町内会　４１２世帯

訓練で班長さんは先ず各家庭の郵便受けや戸口にピンクの旗が掲げられたかどうかチェックします。救援が不要の場合は、各家庭がこのピンクの旗を出すことになっています。昨年までは白いタオルでした。旗が見当たらない場合は、インターフォンで「大丈夫ですか？」と声をかけます。

旗を出すということは「我が家は大丈夫なので、ほかの人を助けに行ってほしい」との積極的なメッセージも意味するとされています。

※こうした安否確認に旗やタオル、ハンカチなどを掲げる取り組みは全国的に広がっています。この方法の良さは、安否確認に自分のプライバシーを一切明らかにしなくても済む点にあります。

結論から言いますと、実際の災害でも訓練でも先ず、安否確認作業ありきです。そこから救援活動が始まります。班長さんの大事な仕事なのです。

『防災とは支え合いです！』　一人の犠牲者も出さないために。

○災害時の「大丈夫」　心理の罠脱せるか！

危機に際し、人は「自分は大丈夫」「大したことはない」と考えて心の平穏を保とうとする。心理学では正常性バイアスと呼ばれるそうです。東日本大震災では、この心理が逃げ遅れを招いたケースがあったと言われている。

自治体による避難指示の遅れが象徴とする、空振りを恐れての躊躇。これも正常性バイアスなのだという。

個々人だけでなく、人の集合体である組織もまた、「大丈夫だ（と思いたい）」という罠に陥りやすいのかもしれません。

※町内会 LINE メールを利用した安否確認作業について（ご報告）

LINE メールを利用した班長さん（１０の班）報告作業時間１０～１５分で完了しました。ご協力ありがとうございました

回覧

令和６年１１月１日
第９Ａ行政区　区長　佐　藤　力

地域集団資源回収作業のお知らせ

１１月１７日の当番班は２・１０班、役員は全区です。

当番班の皆様、役員は８時５０分まで集会所前へ集合して下さい。
雨天時の場合は中止します。どうしても出られない方は班長さんへ連絡して下さい。回収品目でないペットボトルやビン類は出さないで下さい。

※エアゾール缶はガスを全部抜き、出して下さい。事故発生の危険があります

（数ヶ月に一度、ガスを浴びる事故が起きています。気を付けましょう。）
ごみ処理・回収ではありません。皆様のマナーに感謝します。

回　収　品　目

新聞紙（チラシを含む）ダンボール　雑誌類　スチール・アルミ缶　パック紙
雑紙(レシート、包装紙、不要な紙類、トイレットペーパー芯、封筒、菓子箱)は紙袋に入れてお出し下さい。
※上記品目以外は出さないで下さい。お願いします。

＊各家庭の方々は、当日午前８時３０分まで各集積所へ搬出のこと。
＊報告１０月２０日当番班　７班８世帯中７人　８班１１世帯中８人参加
２５班１７世帯中１１人　役員９人　ボランティア６人　　合計４１人参加
＊収益金明細

品　目	数　量（kg）	単　価（円）	金　額（円）
アルミ缶	２００	２２０.０	４４，０００
スチール缶	８０	２９.０	２，３２０
新聞紙	９４０	１０.０	９，４００
段ボール	５８０	１０.０	５，８００
その他（雑誌類）	７８０	１.０	７８０
小　計	２，５８０		６２，３００
消費税			６，２３０
合　計	２，５８０		６８，５３０

※お願い
資源回収にご協力願います。町内会の皆様方のご要望を具現し備品を購入する大切な資金になります。回収品目を保管して頂き、回収日に出しましょう。